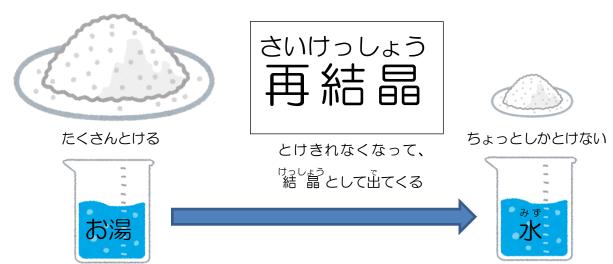
## がつ にち なまえ **月 日 名前**

## 実験解説テキスト **科学の力で雪を降らせる実験!**

塩化アンモニウムは、あたたかい水にはよく溶けて、冷たい水にはちょっとしか溶けません。 なぜそうなるのかというと、温度がたかい水ほど、ものを細かくバラバラにする力が強いからなんです。



いちど塩化アンモニウムを溶かしたあたたかい水をひやすと、溶けていた塩化アンモニウムが溶けされず、再びあらわれます。この雪のように再びあらわれたものを、結晶といい、この実験のことを、再結晶といいます。

## <sub>げんしょう</sub> シュリーレン現象

塩が入ったふくろから、もやもやとしたものが見えましたね?これはシュリーレン現象と呼ばれるものです。シュリーレン現象とは、水の中で、場所により濃さや、温度が違うとき、その部分に もやもや としたかげが見えることです。また、あつい日に、道路などの上に、もやのようなものが立ちかることがありますが、これは温度の違いによって起こるも

蜃気楼と呼ばれる現象 も、シュレーレン現り が関係しています

ので、シュリーレン現象の 1 つです。これは陽炎と呼ばれています。

がっこうきょういく かんけい がくねん ぶんや学校教育で関係する学年と分野

いまうがく 5 ねんせい と かた しょうがく 6 ねんせい すいようえき せいしつ 小学 5 年生 ものの溶け方 小学 6 年生 水溶液の性質

こうこうかがくきそ ぶっしつりょう のうと 高校科学基礎 物質量と濃度